

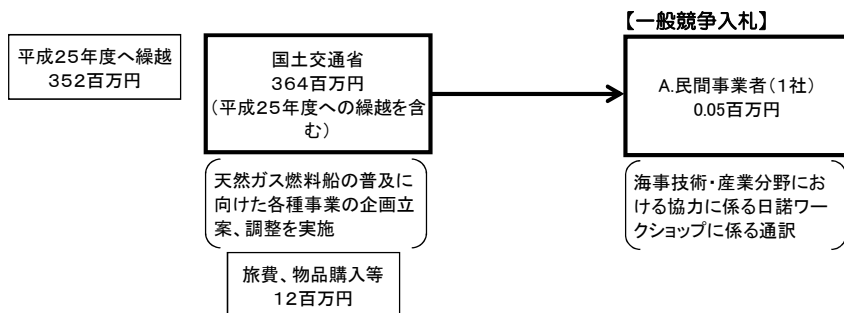
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	代替エネルギー船舶(天然ガス燃料船)に関する総合対策		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24~		担当課室	海洋・環境政策課 安全政策課		課長 平原 祐 課長 加藤光一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	天然ガスを燃料とした船舶(天然ガス燃料船)については、船舶構造や機関などのハード面や、燃料供給や船員教育などの運用・ソフト面の安全基準等が未整備であるため、その実用化・導入が妨げられている。このため、これらの基準の策定等により天然ガス燃料船の実用化・導入を促進する環境を整備し、地球温暖化・大気汚染等の環境問題へ対処するとともに、我が国海事産業の国際競争力の強化を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	天然ガス燃料船に係る、ハード(船舶)・ソフト(燃料供給・船員教育等)の安全基準、実用化に関する海外動向等について調査・検討を行い、国際基準化等を戦略的に推進する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算			366	25	3	
		補正予算			0			
		繰越し等			-352	352		
		計			14	377	3	
	執行額			12				
	執行率(%)			85.7%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、天然ガス燃料船の関する安全基準、燃料補給、船員訓練等に関する安全基準を策定する上での調査事業であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は、天然ガス燃料船の関する安全基準、燃料補給、船員訓練等に関する安全基準を策定する上での調査事業であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績(当初見込み)		-	-	-	-
					()	()	()	()
単位当たりコスト			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	641千円	641千円	事業目的の達成が概ね見込まれることから調査費は削減し、関係会議等の対応のため旅費を増額要求とした。				
	職員旅費	1,710千円	2,106千円					
	委員等旅費	228千円	228千円					
	海事産業市場整備等推進調査費	22,340千円	9千円					
計	24,919千円	2,984千円						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際的な環境規制に対応可能なLNG燃料船の早期実用化・導入に向けた安全基準等の環境整備は、国費を投入し十分な調査をした上で行う必要があり、基準整備等は国が実施すべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	外部支出にあつては、企画競争により実施したが、実施手法等を限定せず、競争性の確保に努めている。また、再委託についても、事業の効果的・効率的な実施のため必要なものに限定し、合理的な事業実施に努めている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	外部支出にあつては、企画競争を実施し、より効果的な実施手段・方法を選定している。 なお、平成24年度に予定していた事業は、物件の調達の都合で一部25年度に繰越して実施することとなったが、事業内容は適切に実施されている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果				外部支出については、企画競争による場合においても、企画提案を募集する際の提案要領について調査内容のみを定め、実施手法の提案を募集することでより効率的かつ効果的な事業実施に努めた。今後は、24年度に得られた知見等と活用し、引き続き効果的な予算執行に努める。		
外部有識者の所見						
持続可能な低炭素・循環型社会の構築の観点から天然ガス燃料船に係る船舶の安全基準、燃料補給等の安全基準の策定は優先度の高い事業であり、支出先の選定においても競争性を高める工夫があった。これまでの知見を活用し更に効率的・適正な予算執行に努めるべき						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業抜本的改善	外部支出については、複数の事業者が参加できるよう、引き続き十分な公示期間の確保等を通じて調達方式を効率化しコストを縮減することにより、適切かつ効率的な予算執行を図るべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	これまで得られた成果をもって今後の関係各所との調整・検討に活かすこととし、予算の縮減を行った。 外部支出については、調達方法の見直しを行うことなどにより、適切且つ効率的な予算執行とする。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	1030

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※平成24年度執行額は、旅費、物品購入等の12百万円。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本コンベンションサービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	通訳	0.05			
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

行革事務局コメント
 0百万円ではわかりにくいので、小数
 第一位までの記載は可能でしょうか。

支出先上位10者リスト

A. 民間事業者

	出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	海事技術・産業分野における協力に係る日諾ワークショップに係る通訳	0	随契	100%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—